



全史料協全国（神奈川相模原） 大会開催される

前号でお知らせしました全史料協全国（神奈川相模原）大会が、平成29年11月9日と10日に本市の「杜のホールはしもと」をメイン会場に、相模原市立公文書館と相模原市立博物館を視察会場として、開催されました。

主な行事は次のとおりです。

大会テーマ研究会「公文書管理法30年-今、問われる公文書管理-」

第1部 「地方自治体における公文書管理」

報告 公文書館法と公文書管理法が地方公共団体に求めるものとは

報告 鳥取県における市町村等と連携した歴史公文書等の保存と活用の取組

第2部 「公文書館法30年座談会」および総合討論

研修会

相模原市立博物館・相模原市立公文書館視察

アーカイブズ入門-市町村アーカイブズの役割-

市民協働によるデータベース構築-尼崎市の事例から-

豊田市の公文書管理-情報公開制度による歴史公文書の公開-

用田村伊東宗兵衛家文書の整理と活用

全国から、歴史資料の保存・活用に携わる公文書館などの職員や個人の方合わせて246名の参加がありました。

[詳しい内容は、JSAI会報 No.103(ホームページアドレス <http://www.jsai.jp> から)でご覧になることができます。]



大会テーマ研究会

全史料協とは・・・

全史料協は「全国歴史資料保存利用機関連絡協議会」の略称です。

発足は、1976(昭和51)年。文書記録を中心とする記録資料を保存し、利用に供している機関会員とこの会の目的に賛同して入会した個人会員で構成する全国団体です。

機関会員には、文書館、公文書館、図書館、歴史資料館、自治体史編さん室、及び大学資料室等が加盟しています。個人会員は、資料を保存し利用に供する仕事に携わる方々です。

(全史料協ホームページから抜粋)

公文書館事業の結果

第10回企画展 開催期間 2017.10.6 - 12.28

相模原における鉄道の開通と発展

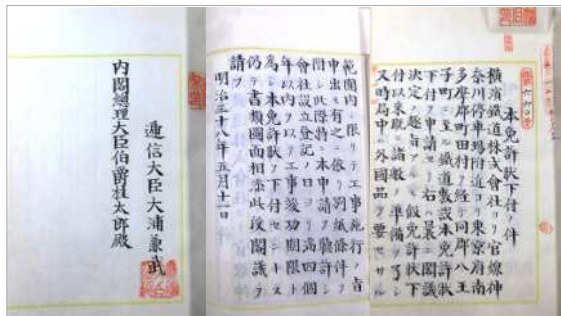
明治以降近代化のシンボルとして誕生した鉄道の歴史を通して、相模原が発展してきた状況を公文書等で振り返りました。

展示資料数 68点

来館者数 487人(延べ人数)

主な展示文書

- ・甲武鉄道会社(現中央本線)の設立と営業許可(明治22年)
- ・横浜鉄道本免許状の下付(明治38年)



- ・横浜鉄道停車場の設置に関する意見書(明治38年)



- ・小田急線敷設免許の申請(大正9年)
- ・相模鉄道線路敷設に係る工事設計協定書(昭和4年)
- ・京王電鉄・小田急電鉄・西武鉄道免許申請線路図(昭和39年)
- ・相模線電化複線化促進宣言・決議(昭和40年)

第11回企画展 開催期間 2018.2.15 - 4.8

「軍都計画」と相模原

陸軍士官学校をはじめ、多くの軍関係施設や民間工場などが移転してきた昭和10年代の相模原の様子を、軍都計画や相模川河水統制事業という側面から捉えて公文書を展示しました。

展示点数 50点

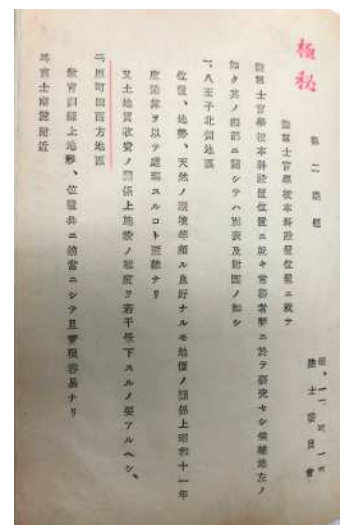
来館者数 337人(延べ人数)

主な展示文書

- ・相模原土地地区画整理地区現形並予定図(昭和15年)



- ・第二議題 陸軍士官学校本科設置位置に就いて(昭和11年)
- ・陸軍用地買収に関する件(昭和11年)
- ・相模川河水統制事業に関する件伺(昭和13年)
- ・相模原軍都計画に関する件(昭和16年)
- ・キャンプ淵野辺の返還後における跡地利用について(要望)(昭和45年)



終了した企画展の展示資料目録は、相模原市のホームページからダウンロードすることができます。

第6回講演会

相模原軍都計画と地域の変化



開催日時 平成30年3月10日
午後2時から4時まで

参加者 64名

前後に開催していた企画展『「軍都計画」と相模原』に連動して講演会を行いました。

講師は相模原軍都計画研究の第一人者で、相模原市史にも数多く執筆されている、桜美林大学教授の浜田弘明氏。

相模原市史などの資料を織り交ぜながら時間いっぱいまで熱の入った講演が続きました。

講演の主な項目

- 1 相模原の土地利用と景観の変貌
 - (1) 地形図に見る地域の変遷
 - (2) 変わる土地利用と景観

2 鉄道の敷設と林間都市計画

- (1) 東京西郊の鉄道敷設計画
- (2) 鉄道建設と住宅地開発
- (3) 小田急と林間都市計画

3 陸軍施設の建設

- (1) 陸軍士官学校の建設
- (2) 相模陸軍造兵廠の建設
- (3) 軍事施設の立地と配置

4 相模原の軍都建設

- (1) 新興工業都市としての軍都相模原
- (2) 相模原の都市建設と区画整理事業
- (3) 相模原町の誕生

神史協研究会が本市公文書館で開催

県内の公文書館施設、市町村史編さん担当などの機関で構成されている神史協（神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会）が主催する平成29年度第2回研究会が、平成29年12月13日に当公文書館で開催されました。

当公文書館飯田館長が、「増え続ける公文書の保存と公開への対応について」という

テーマで経緯・制定後の文書管理改変などの報告を行い、研究が進められました。



公文書館からの知らせ

歴史的公文書目録を更新しました

市立公文書館では、閲覧室に配架している歴史的公文書目録を、平成30年4月に更新しました。



歴史的公文書目録は、公文書の適正な管理を行うため、公文書管理条例に基づき作成しています。公文書館にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

なお、同目録は、相模原市ホームページからもご覧いただくことができます。

目録簿冊 3種類 5冊

- ・年度順（各年度別）
- ・資料群順（市・町・村別）
- ・追加分（平成30年4月分）

目録総数 23,021件

[内訳]

- ・旧相模原市 4,199件
- ・旧城山町 1,858件
- ・旧津久井町 13,962件
- ・旧相模湖村 955件
- ・旧藤野町 2,047件

（旧市町の目録には、それ以前の町村の目録が含まれています。）

第12回企画展について

平成30年6月15日（金）からの開催に向けて、現在準備中です。

また、秋頃には第13回企画展、冬頃には第14回企画展も予定しています。

これまでの企画展では、本市が所蔵する歴史的公文書を数多く展示してまいりました。

これからも、皆様に興味を持っていただける展示を行ってまいりますので、どうぞご期待ください。

公文書館職員人事異動

退職

臨時主事 榎本京子
（平成30年2月28日付）

主任 八木和夫
（平成30年3月31日付）

転入

主任 水野康次
（平成30年4月1日付
津久井土木事務所から）

採用

臨時主事 田上めぐみ
（平成30年4月1日付）

公文書館だより 第7号

発行日 平成30年5月1日

編集発行 相模原市立公文書館

電話 042(783)8053

〒252-5192 相模原市緑区久保沢1-3-1 城山総合事務所第2別館3階

